

第73回国民体育大会福井しあわせ元気国体結果報告書 2018.10.7

栃木県テニス協会
総監督:阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成30年9月30日(日)～10月3日(水)
- ・会場 福井県福井市わかばテニスコート・福井県営テニス場
- ・主催 (公財) 日本体育協会・文部科学省・福井県
(公財) 日本テニス協会・福井市

2. 試合方法

- ・競技は、各種別それぞれ3ポイント(単2・複1)とし、その勝敗は獲得したポイント数の多少によって決める。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切る。また、同時進行の場合も同様とする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督:阿久津定之

1. 成年女子 監督:渡辺千鶴 選手:吉田麻美、関谷里佳子
2. 少年男子 監督:毛塚英樹 選手:飯田翔、松尾滉哉
3. 少年女子 監督:中澤正彦 選手:佐藤成美、増淵つかさ
トレーナー:吉村健児

4. 試合結果

■成年女子 1回戦 対 神奈川県:9月30日(日)

	栃木県	②-1	神奈川県
S1	吉田麻美	●1-6○	水沼菜子
S2	関谷里佳子	○6-4●	米原実令
D	吉田麻美 関谷里佳子	○6-2●	水沼菜子 米原実令

■成年女子 2回戦 対 千葉県:10月1日(月)

	栃木県	0-2	千葉県(8シード)
S1	吉田麻美	●3-6○	小松莉奈
S2	関谷里佳子	●1-6○	岩井真優
D	吉田麻美 関谷里佳子	打切り	小松莉奈 岩井真優

■少年男子 1回戦 対 山形県：9月30日(日)

	栃木県	②-1	山形県
S 1	飯田 翔	○6-0●	菊地康晃
S 2	松尾滉哉	●2-6○	綱代 凱
D	飯田 翔 松尾滉哉	○6-3●	菊地康晃 綱代 凱

■少年男子 2回戦 対 岡山県：10月1日(月)

	栃木県	②-1	岡山県
S 1	飯田 翔	○7-5●	三宅悠介
S 2	松尾滉哉	●4-6○	合田 渚
D	横田大夢 松尾滉哉	○6-2●	三宅悠介 合田 渚

■少年男子 3回戦 対 愛知県：10月1日(月)

	栃木県	1-②	愛知県 (第3シード)
S 1	飯田 翔	○6-1●	池田朋弥
S 2	松尾滉哉	●4-6○	影山太星
D	飯田 翔 松尾滉哉	●3-6○	池田朋弥 影山太星

■少年女子 2回戦 対 宮城県：10月1日(日)

	栃木県	0-②	宮城県
S 1	佐藤成美	●4-6○	五十嵐唯愛
S 2	増淵つかさ	●3-6○	鎌田愛莉
D	佐藤成美 増淵つかさ	打切り	五十嵐唯愛 鎌田愛莉

5. 所感

今年の福井国体は平成最後の国体となり、天皇陛下、皇后陛下も最後の国体となりましたが、台風24号の影響で総合開会式の29日は朝から雨が降るあいにくの天気となりました。グラウンドにも水が溜まり、参加者、役員の方は大変だったと思います。栃木県からも4種目が参集競技となり、テニス競技からも9名が参加し満員のスタンドを元気に入場行進しました。やはり、総合開会式はとても盛り上がり感動的でした。

テニス競技は2会場の開催となり、成年種別は福井市わかば庭球場、少年種別は福井県営テニス場で行われました。大会初日、台風の影響が心配される中、予定のとおり実施されることになりましたが、成年は2回戦まで1セットマッチのノーアドバンテージ方式、少年は3回戦まで1セットマッチのノーアドバンテージ方式に変更され実施されました。

成年女子の初戦の対戦相手は同じ関東の神奈川県との対戦となりました。シングルス1の吉田選手は、ランキング63位リコー所属の水沼選手と対戦しましたが1-6と惨敗、シングルス2の関谷選手の対戦相手は、全日本ダブルス優勝、インカレダブルス優勝した明治安田生命所属の米原選手、厳しい戦い予想される中、4-4と競り合い、6-4で関谷選手が競り勝った。この調子でダブルスに入りたかったが、正午に強風警報が発令されたため、この日の試合は中止となりダブルスは翌日に持ち越された。1日は強風注意報になったため、朝から試合が行われた。ダブルスのスペシャリストとの対戦だけにいかに先行できるかが鍵となった。神奈川県の水沼選手からのサーブで始まり、いきなりブレイクすると波に乗り5ゲーム連取、6ゲームは関谷選手のサーブをキープする勢いだったが、ミスが続きブレイクを許し、次のゲームも相手が簡単にキープ、嫌な流れとなった。しかし、最後までひるむことなく攻め続け、関谷選手のボレーが決まり、最後は吉田選手がロングラリーを制し初戦を突破した。

続く2回戦の対戦相手は、第8シードの千葉県、再び関東同士の対戦となった。シングルス1の吉田選手の対戦相手は東洋学園大学の小松選手、今年のインカレベスト16の選手です。吉田選手は前半ミスもあり先にブレイクされたが、中盤以降はストロークで優位に立ち、3ゲームを奪ったものの、前半のミスが響き3-6で落とした。関谷選手の対戦相手は筑波大学の岩井選手、今年のインカレベスト32の選手です。岩井選手はストロークのミスが少なく安定し、関谷選手が随所にリターンエースを奪ったがゲームが取れず、1-6と惨敗、0-2で敗れベスト8に入る事はできなかった。

少年男子は2人とも足利大学附属高校の1年生の若いチーム、初戦の対戦相手は秋田県、シングルス1の飯田選手は6-0で圧勝、シングルス2の松尾選手は2-6で敗れダブルス勝負、6-3で勝利し2回戦にコマを進めた。2回戦の対戦相手は岡山県、シングルス1の飯田選手は7-5で競り勝ち、松尾選手も競ったが4-6で落としダブルス勝負、ダブルスは6-2で勝ち3回戦に進んだ。3回戦の対戦相手は第3シードの愛知県、シングルス1の池田選手は今年インターハイ3位の強敵でしたが、飯田選手は6-1と圧勝、大金星を挙げた。シングルス2の松尾選手も接戦でしたが、4-6と敗れ再びダブルス勝負、3-3と接戦でしたが、最後は3-6と敗れ今年もベスト8に入る事が出来なかった。

少年女子の選手は2人とも作新学院で3年生と2年生、初戦は2回戦からで対戦相手は宮城県、シングルス1の佐藤選手は接戦でしたが4-6で敗れ、シングルス2の増淵選手も接戦でしたが3-6で敗れ初戦敗退となった。

今年は成年女子が久しぶりに初戦勝利、これも、今年の夏2日間ダブルスの強化練習をした結果の勝利だと思います。少年男子は去年に続き3回戦敗退、今年もあと一步のところまでベスト8に進むことが出来なかったが、1年生の飯田選手はシングルスで3勝、今後に期待が持てる結果となった。少年女子も初戦勝利する事は出来なかったが、参加した選手は最後まで栃木の代表として頑張ってくれました。また、吉村トレーナーには、大変お忙しい中帯同し選手のサポートをして頂き大変感謝しております。

最後に、いろいろとお世話になりました県教育委員会をはじめ県体育協会の皆様、また、遠くまで応援に来てくださいました父兄の皆様、本当にありがとうございました。4年後の栃木国体を目指し、来年は今年より良い結果を残せるよう頑張りますので今後ともご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。